

會議事項ニ移ルヲ得ル自然流會トナリ其旨ヲ
大日本美術友禪會工組合本部ニ通知シタルカ
出席者ノ意見ハ此際債銀一割使上繼續問題
ハ事業不振ノ所柄ナレハ到底承認スルヲ得ス
又事業手前問題ハ同業組合員全所ノ問題ト
セズ之ヲ承認スルト店トハ各工場主ノ任意トナ
スヘキコトニ意見一致シタル又尙其態度ヲ決
定スル為メ此ノ同業組合員大會ヲ開催スル事ナ
リ

二 職工側ノ態度

當日職工側ニ於テハ組合長更迭ニ俾フ組合規
約并主義綱領改正ノ件(和報云)及同業組合側ノ
回答ニ付キ協議ヲ爲スベク午後又附ヨリ工場委員
會ヲ開催(出席者約五十名)シタルハ既ニ同業組合側
ヨリ本日ノ大會ハ流會ニ終リタル旨、通知到着シ
居タルヲ以テ職工側ハ其ノ誠意ニ憤慨シ善後策ニ
付キ討議シタル結果左記ノ如キ通知狀ヲ各工場

主宛提出スルコトニ決セリ

左記 (男)

採活仕リ候

學友會而當組合ナリ貴組合ニ對シ債銀一割上げ繼
續年法財支給の供交渉に付キ本日當組合に於テハ
行司總會相繼し特別交渉委員ト選定致し貴組合
員總會の結果ヲ相待チ申居リ候處貴組合ヨリ該
流會の旨御通知に達し何等容銀ヲ得テ了レハ双方誠
意の交渉に對し誠ニ遺憾の程ニ存じ候就而は當
組合として此上行司總會開催の余地も無之候に付キ
隨意御承認の儀と相認め兼而交渉の主意に依リ任意
決定致候間務め御承認の度此致御通知申上
候

一 債銀一割上げ繼續承認

一 休業日數三日以上に涉リ時は補助支給

但シ休業日數は一ヶ月過算に依リ債銀金ニ付テハ

大正十三年五月六日